

- ① 静清バイパス供用後の平成14年に、終点側のバイパス・現道合流部に建設された丸子地区の配送ターミナルでは、清水港への輸送ルートとして静清バイパスを利用しています。
- ② 国道1号現道の沿線に立地していた運送会社は、交通アクセスに優れた静清バイパス沿線の流通センター内に事務所を移転し、静清バイパスを利用して荷物の運送を行っています。

① 静清バイパスから清水港へ



② 静清バイパスの利便性を求めて



静岡バイパスの全線暫定供用によって、平行する国道1号現道、北街道（静岡清水線）、藤枝静岡線の走行性が向上し、通勤時間帯に市内を運行する路線バスが時刻表どおりに走行できるようになりました。

この結果、通勤時間帯の路線バスの利便性が向上しました。

通勤時間帯の路線バスの利便性が向上

バス路線名	運行区間	運行距離 (km)	時刻表の所要時間 (分)	平成9年		現状(平成19年)	
				実際の所要時間(分)		時刻表の所要時間 (分)	実際の所要時間 (分)
				供用前	供用後		
北街道線	瀬名川 ↓ 静岡駅	5.9	29	36	29	26	26
三保線 (国道静岡清水線)	清水駅 ↓ 新静岡	10.5	43	46	43	42	42
中部国道線	藤枝大手 ↓ 新静岡	18.5	63	75	69	64	65



※：静岡鉄道株式会社調べ
 供用前：平成9年3月10日～14日の5日間運行平均
 供用後：平成9年9月29日～10月3日の5日間運行平均
 現状(平成19年)：平成19年4月

**通勤時間帯の路線バスの定時性が確保され、
路線バスの利便性が向上**